

製品名: リン酸化 PYK2 (Tyr402) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00952

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 116 kDa; Observed MW: 116 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK2B PTK2B; FAK2; PYK2; RAFTK; Protein-tyrosine kinase 2-beta; Calcium-dependent tyrosine kinase; CADTK; Calcium-regulated non-receptor proline-rich tyrosine kinase; Cell adhesion kinase beta; CAK-beta; CAKB; Focal adhesion kinase 2; FADK 2; Pro
別名	
遺伝子 ID	2185
SwissProt ID	Q14289
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

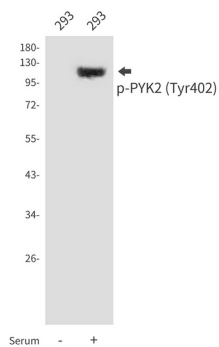
背景

PYK2 は Fak ファミリーに属する非受容体型チロシンキナーゼです。主に造血系由来の細胞および中枢神経系で発現しています。PYK2 は G タンパク質共役受容体のシグナル伝達メディエーターの一つです。カルシウム誘導性イオンチャネルの調節および MAP キナーゼシグナル伝達経路の活性化に関与しています。Grb2 の SH2 ドメインと相互作用します。

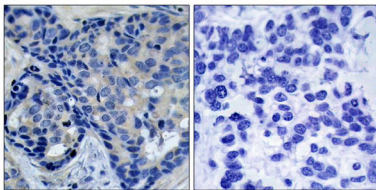
研究分野

シグナル伝達

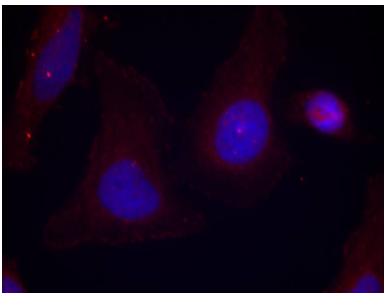
画像データ



リン酸化 PYK2 (Tyr402) 抗体を使用した 293 溶解物中のリン酸化 PYK2 (Tyr402) のウエスタンブロット分析。



Pyk2 (リン酸化 Tyr402) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



Pyk2 (リン酸化 Tyr402) 抗体 (赤) を用いた HeLa 細胞におけるリン酸化 PYK2 (Tyr402) の免疫蛍光分析。